

# 宮城県林業普及活動情報

2024. 2月号 No. 189

## もくじ

### 各地の林業普及活動情報

P 2～8

- 七ヶ宿町森林組合地区説明会での情報提供 (大河原地方振興事務所)
- みんなの森林づくりプロジェクト推進事業の活動成果を確認 (仙台地方振興事務所)
- みやぎ食材伝導士研修の開催 (仙台地方振興事務所)
- 造林補助事業活用の相談等 (北部地方振興事務所)
- 菌床しいたけ現地指導 (北部地方振興事務所)
- 農事組合法人への栽培指導 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「苔アート作製教室」の開催 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 木材加工施設の経営管理支援 (東部地方振興事務所)
- G N S Sによる現地調査 (東部地方振興事務所)
- 管内木工製品のPR拡大に向けて (東部地方振興事務所)
- 広葉樹用材利用拡大に関する支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 地場産品直売会での原木しいたけ販売 (気仙沼地方振興事務所)
- 令和6年度宮城県林業研究会連絡協議会第1回役員会、森林・林業研修会及び第68回通常総会の開催 (林業技術総合センター)

## 七ヶ宿町森林組合地区説明会での情報提供 大河原地方振興事務所

【16日】

七ヶ宿町森林組合が例年この時期に開催している地区説明会に講師として出席し、森林経営計画制度の概要及び、補助事業等について説明を行いました。

補助金を活用しながら森林整備を進めるには、森林経営計画の策定が重要であることについて理解を深めていただきました。

今後も町や森林組合と連携して、情報提供を行い集約化等に向けて支援していきたいと思っております。



【説明会の様子】

## みんなの森林づくりプロジェクト推進事業の活動成果を確認

仙台地方振興事務所

【5日(木), 6日(金), 14日(水), 19日(月),  
21日(水), 22日(木), 27日(火)】

令和5年度みんなの森林づくりプロジェクト推進事業により森林整備等の活動を行った8団体の現地確認を行いました。

今年度より活動を始めた山元町戸花山では、1年間下刈り、除間伐の実施することで、山から海が眺望できるようになりました。また、亘理町の海岸林では、3年間下刈りをする中で、マツの稚樹が2mを超えるほど成長し、マツが成林している様子も確認されました。

プロット調査や見通し調査、生育調査など、補助事業における要件活動については、各団体とも戸惑いが多かったと思いますが、一年間、林業普及指導員と一緒に、助言指導した成果を、全ての現場で確認することができました。

安全第一の活動の中で、今後とも、皆さんが目指す森林整備活動の支援を行って参ります。



【つつじが咲き誇る戸花山(山元町)を目指して】

## みやぎ食材伝導士研修の開催

仙台地方振興事務所

【20日(火)】

仙台市泉区で原木しいたけの生産を行っている熊谷農園にて、県内の飲食店経営者や料理人の方々を対象としたみやぎ食材伝導士研修が開催され、事務局として参加しました。

参加した研修生はしいたけ原木への植菌作業などに非常に熱心に取り組んでおり、原木しいたけ生産への理解を深めることができました。また、しいたけの試食ではその優れた食味を絶賛する声もあり、飲食店を通して原木しいたけの魅力をさらに広めるきっかけとすることができました。

今後も、原木しいたけの認知向上による生産の更なる振興を目指し、支援を続けていきます。



【植菌作業の説明の様子】

## 造林補助事業活用の相談等

北部地方振興事務所

【7日(水)】

所有する森林の伐採と、その後の造林に係る補助事業活用等について相談に来られた方へ対応しました。

相談者は、共有林所有者のお一人で、他の所有者が高齢化してきている等の理由により、「共有者の持ち分を自分が購入して個人で管理することで話を進めている」とのことでした。

購入後は、伐採を行って再造林をしたいとのことでしたので、活用可能な補助事業、採択にあたっての要件等を資料により説明し、内容を理解していただきました。

今後も意欲ある森林所有者を支援してまいります。



【窓口での相談対応の様子】

## 菌床しいたけ現地指導

北部地方振興事務所

【21日(水)】

大崎市田尻地区では、事業所及び複数の生産者が、それぞれ菌床しいたけ栽培に取り組んでいます。

今回、個人で栽培している施設を訪問し、冬期間のしいたけ発生状況を確認したところ、昨年夏の猛暑による影響から発生量は少なく、需要に対する供給が追いつかない状態となっていました。

今後も気象の変化が予想されるため、状況を見ながら空調を上手にコントロールするなど、栽培管理の徹底等について指導してまいります。



【生育状況の確認】



【施設の屋外設備の確認状況】

## 農事組合法人への栽培指導

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【13日(火)】

経営の安定と栽培技術の向上を目的に種菌メーカーの協力を得て、農事組合法人に対する栽培指導（勉強会）を行いました。これまで法人から相談のあった事例を参考に、種菌メーカーから雑菌対策についてレクチャーを受けました。出席者は、隙間の補修やフィルター交換、カビや結露は消毒し拭き取る、ホコリは掃除をすることなど雑菌混入の改善策等について再認識することができました。また、当事務所からもアルコール等による室内の清掃を徹底するよう指導しました。

引き続き、種菌メーカーの協力も得ながら、法人に対する栽培指導を行っていきます。



【勉強会の様子】

## 「苔アート作製教室」の開催

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【4日(日), 11日(日), 18日(日), 25日(日)】

苔の産地化を目指している栗原地区では、新たな方向性として「苔の聖地化」も位置づけたことから、苔ファンの裾野を広げることを目的に、栗駒山麓ジオパークビジターセンターにおいて開催中の「くりはら de 苔アート展2024」において、苔アート作製ブースを設置し、苔玉作製教室及び苔テラリウム作製教室を全8コース開催しました。

一般的な苔を使ったビギナーコースと希少性の高い苔を使ったプレミアムコースを設定した苔テラリウム作製教室においては、いずれの参加者も、石、スレート、枯木や栗原産の苔7種類をガラス容器の中に思い思いに配し、凝縮された自然景観を表現していました。

また、苔玉作製教室では、講師からお椀や菰を使って水持ちが良く手を汚さない新たな作製方法や、3種類の苔を巻き付けるといったアイデアの提案もあり、これまでにないインパクトのある苔玉が完成しました。

栗原地区においては、令和6年度においても、全国苔フェスティバルをはじめ、苔テラリウムコンテスト、商品化講習会等を順次開催する計画としており、苔の産地化と聖地化の定着を図っていくこととしています。



【お母さん、お父さんに手伝ってもらいながら、かわいらしい苔テラリウムが完成しました】



【講師からは、菰の上に3種類の苔を巻き付けというアイデアの提案もありました】

## 木材加工施設の経営管理支援

東部地方振興事務所

【15日(木)ほか】

補助事業で整備した木材加工施設の稼働状況について、実績等が目標値を下回る施設事業者と今後の改善方針について打合せを行いました。

対象事業者(管内2者)への聴き取りでは、昨今は木材需要が減少していることから、経営改善に向けては、営業範囲の拡大や関係者連携の強化を検討するなど、各事業者で取り組むこととして、今後とも引き続き支援を行うこととしました。



【打合せの状況】

## G N S Sによる現地調査

東部地方振興事務所

【20日(火)ほか】

現場でのスマート林業の普及を目的に、森林整備補助事業に係る完了検査において、衛星測位システム受信機（G N S S 端末）を用いての測点確認を行いました。

間伐などに係る申請区域は10ha以上と広大でしたが、事業区域の測点は、受信機によりリアルタイムで受信機に位置が表示されるため、箇所を短時間で確認できました。今後とも補助事業事務の効率化などに向け、事業体と連携し、スマート林業を推進していく予定です。



【受信機端末での確認状況】

## 管内木工製品のPR拡大に向けて

東部地方振興事務所

【27日(火)】

宮城県石巻合同庁舎1階ロビーのコーナーでは、食品サンプルや工芸品などの地域産品を展示していますが、管内の木工品のPRを拡大するべく、新たな木工作品の展示希望について製作者へ呼びかけました。

その結果、管内1者の中から申込みがあり、作品のぬくもりや木工技術を直に感じられるような、新作（組子細工の行灯・ワインホルダー）を展示してもらいました。出展者からは「来庁者に多くの製品を見てもらうことで、今後の製作の力になる。」との感想があったため、今後、ほかの木工品についてもPR展示の拡大を図る予定です。



【木工作品の展示状況】

## 広葉樹用材利用拡大に関する支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【22日(木)】

登米町森林組合が長年取り組んでおり、近年、家具やフローリング、ウイスキー樽等の用途として需要が高まっている広葉樹用材の推進を図るため、広葉樹資源が豊富で用材利用の実績がある加美町を訪問し、町有林の広葉樹材利用について検討を依頼しました。

打ち合わせでは、広葉樹用材需要やこれまで利用できなかったナラ枯れ材のフローリング等への活用事例について情報を共有しました。また、加美町における広葉樹活用の検討案として、国立音楽院くにたちおんがくいんを訪問し、楽器の製作工程や使用する材の特徴などに



【楽器材としての広葉樹地域材利用について検討しました】

ついて情報を共有し、バイオリン等の試作を検討することとなりました。

## 地場産品直売会での原木しいたけ販売

気仙沼地方振興事務所

【2日(金)】

気仙沼管内の地場産品のPRを目的とした販売会が気仙沼合同庁舎で実施され、当部からは南三陸町の原木しいたけ生産者2名がそれぞれ出展しました。

南三陸町では、年間で500kg前後の原木しいたけが生産されていますが、ほとんどが仙台方面に出荷され、地元ではほとんど流通しないことから、直売会当日はその珍しさから販売の列が絶えず、1時間も経たないうちに用意した約50パックが完売しました。

気仙沼合同庁舎での販売会は来年度も実施される予定ですので、原木しいたけのPRもあわせて、今後も出展支援を行ってまいります。



【直売の状況】

## 令和6年度宮城県林業研究会連絡協議会第1回役員会、森林・林業研修会及び第68回通常総会の開催

林業技術総合センター

【2日(金)】

当所研修棟において、宮城県林業研究会連絡協議会が、標記事業を開催しました。

役員会では、第68回通常総会の開催に向けて総会資料・進行要領の最終確認が行われました。

森林・林業研修会では、高橋勇記一迫林研会長から令和5年度北海道・東北ブロック林業グループコンクールについて報告があ



【令和6年度第1回役員会の様子】

りました。

第68回通常総会では、議長の選任後、各号議案が事務局から上程され、全ての議案が異議なく承認されました。また、その他において、渥美会長から、北海道・東北ブロック令和6年度林業グループコンクール及び第回意見交換会の開催日程と場所が周知され、会員各位に協力が要請されました。

森林・林業の推進と林業後継者の育成に向けた係る行事の成功を県も支援しています。



【森林・林業研修会の様子】



【第68回通常総会の様子】